

生徒が主体的にとりくみ、仲間とともに感動を分かち合う合唱活動をめざして
～限られた授業時間の中で、基礎・基本の定着を図り、

3年間の系統的な学習の積み重ねと効果的な指導を通して～

1 設定理由

入学式、予餞会、卒業式、合唱コンクール…学校行事には、いつも音楽がある。

特に、クラスや全校生徒がひとつになって歌い上げる合唱の響きは、聴く人に大きな感動を与える。多感な中学生期に、仲間と目を合わせ、息を合わせ、声を合わせることで、互いの心が共鳴し合い、深い感動を体験することができる合唱活動には、大きな学びの価値があると考えられる。しかし、年間35時間（1年生は45時間）の授業時間の中で、合唱にとりくむ時間は限られる。そこで、①生徒一人ひとり（個）に注目した指導と、②学級担任との連携という2つの視点から、音楽科としてできることは何かを考え実践することで、生徒は、歌唱技能の基礎・基本を身につけ、仲間とともに主体的にとりくみ、感動的な合唱活動につながると考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

【仮説1】～個に注目して～

生徒一人ひとりの発声の特徴や成長過程を明らかにし、個に応じた指導や支援の手立てを工夫することにより、生徒は、具体的なめあてをもちながら主体的に学習にとりくむことができるだろう。

【仮説2】～学級担任との連携…行事のとりくみを通して～

学級担任への働きかけを工夫することにより、担任から生徒への音楽的な関わりが充実し、生徒は、仲間とともにより豊かに音楽表現する力を身につけることができるだろう。

3 研究内容

（1）個に応じた指導・支援…生徒の実態把握と基礎練習の継続的な実施

…生徒リーダーを生かした合唱の組織作りとリーダー育成

（2）学級担任との連携 …授業や行事のとりくみを通して報告・連絡・相談

4 結論

生徒一人ひとりの「向上・成長したい」気持ちは、個に応じた指導と支援を意図的・継続的に行うことで、大きく花開く。さらに音楽科が学級担任と連携し、学校行事に積極的に関わることで、生徒は主体的にとりくみ、仲間とともに感動を分かち合う合唱につながる。

時間はかかるが、音楽科としてやるべきことを丁寧に、生徒一人残らずの成長を信じて。

研究主題

生徒が主体的にとりくみ、仲間とともに感動を分かち合う合唱活動をめざして
～限られた授業時間の中で、基礎・基本の定着を図り、
3年間の系統的な学習の積み重ねと効果的な指導を通して～

1 主題設定の理由

音楽は、人の心を躍らせ、人の魂を揺り動かし、時に人の気持ちを癒す、心温まるものである。そして声は、音楽を生み出す最も身近な楽器である。管楽器や弦楽器と同じように、透明で自然な響きが求められ、その響きが言葉を伴って人の心の扉をたたく。歌には詩の世界があり、聴き手に詩のメッセージとして伝えることができる。中学生の時期は、様々な活動や体験を通して心身ともに著しく成長し、個人や集団の力が確立していく大切な時期である。また、発声機能の発達とともに、豊かな響きを獲得していく時期でもある。学校での音楽学習は、個人では味わえない合唱や合奏を通して、響き合う喜びや感動を味わうことができる。

しかし、音楽の授業は、年間35時間（1年生は45時間）であり、鑑賞、器楽、創作等とのバランスを考えたとき、歌唱分野の合唱に費やせる時間は限られる。その合唱も、充実した活動にするための下準備…基礎的な発声・発音・呼吸法の習得、生徒リーダーの育成等、3年間を見通した継続的な指導が必要である。変声期や思春期まっただ中で、歌うことはもちろん、声を出すことに消極的な生徒もクラスに必ず存在する。合唱は一人ではできない。だから難しいし、最高に面白い。とはいえ、音楽科の教員一人が張り切るだけでは、思うような成果や成長につながらないことが多い。授業の中で…、行事のとりくみを通して…、学級担任との連携や学校全体の協力体制をとりつけるための手立ては…？『音楽科として、自分にできることは何だろう』を考え、試行錯誤が今日も続く。

「何で歌うの？」から「みんなで歌うのが好き！」に生徒の意識を変えたい。何より、生徒一人ひとりが持つ世界でたった一つの楽器「声」の魅力と、今後の成長の可能性を知り、互いに尊重しながら磨き合う楽しさを味わってほしい。

次期学習指導要領（中学校は2021年度実施）の重点である「主体的・対話的で深い学び」の実現を踏まえ、生徒が自ら進んでとりくみ、仲間との活動を通して互いに高め合う合唱指導のあり方を求めて本主題を設定した。

2 研究仮説

【仮説1】～個に注目して～

生徒一人ひとりの発声の特徴や成長過程を明らかにし、個に応じた指導や支援の手立てを工夫することにより、生徒は、具体的なめあてをもちながら主体的に学習にとりくむことができるだろう。

【仮説2】～学級担任との連携…行事のとりくみを通して～

学級担任への働きかけを工夫することにより、担任から生徒への音楽的な関わりが充実し、生徒は、仲間とともにより豊かに音楽表現する力を身につけることができるだろう。

3 研究内容

(1)【仮説1】の検証

《実践1》生徒の実態把握

①「音楽調査カード」…資料 参照

- ・4月最初の授業で実施（アンケート用紙）
- ・これまでの音楽経験と音楽に対する興味・関心をつかむ意識調査。
- ・クラス分を名簿にまとめて一覧表作成。学級担任にも配付。
- ・合唱組織決定時の参考資料としても活用。（音楽科・学級担任）

- この調査から、リーダーや伴奏者など、クラス合唱の中心となって活躍できそうなメンバーのおおまかなピックアップと、本人の希望状況の把握ができる。
- 音楽の授業や行事についての今年の目標を書かせることで、意欲化を図ることができる。
- 生徒個々の「向上したい」や「伸ばしたい」内容・分野をつかみ、1年間の授業実践に生かすことができる。
- 学級で合唱組織決定や自由曲の選曲をする際にも参考資料として有効。
- 主に合唱活動についての設問が多いため、鑑賞や創作、器楽（リコーダー）など、他の分野については別調査が必要である。
- あくまで生徒の自己申告なので、正確さ・信頼度に欠ける部分もある。

（楽器の経験年数と実際の力量等）

②「声域調査」…資料 参照

- ・毎年4月～5月の授業で、個別の実技調査を実施（各学級2時間程度）
 - ◇2016年度 富津市立 大貫中学校（全校7学級）計197人
 - ◇2017年度 袖ヶ浦市立長浦中学校（全校9学級）計308人
- ・教職員のピアノ伴奏に合わせて1人ずつ音階発声練習を行い、今出せる声域及び発声の特徴と声の成長過程、今後の課題を知る。（他の生徒はプリント課題実施）
- ・2，3年生については、昨年度までの自分のデータと比較し、3年間の成長・変化をつかませる。（「声の成長記録」）
- ・基礎的な発声技能や表現力、とりくみの意欲・姿勢等、プラス面での評価（優れた、向上・成長した点）を具体的に挙げて伝えるとともに、さらなる向上・成長のヒントや課題解決の道すじについて個別にポイントアドバイスをを行い、1年間のめあてをもたせる。（活動の意欲を引き出す評価）

◇言葉かけの例

「丁寧な声出しに好感がもてます。表情筋を意識して口角を上げて歌うと、音色が明るくなりますね。」

「去年より大分おとなの声が育ってきましたね。とれる音域が増えていきます。息の支えを意識して、体全体で発声してみてください。」

- 同じ音楽室内で一人ずつ調査するので、自分だけでなく仲間の声の特徴や成長を知ることができる。その結果、生徒は身近な「めざす声」やお手本を見つけ、意欲が高まる。
- 全員調査を終了すると、ある程度、発声のしかたや音色などが揃い、クラスの響きに自然な統一感が生まれる。その後の合唱練習でも大変有効である。
- 学年が進むごとに、着実な向上や変声期等による変化など、声の成長を実感することができるので、毎年はじめに行う調査を励みに課題意識をもって授業に臨む姿がみられる。
- 一人の調査と対話、アドバイスにかかる時間は平均3～4分。今年度は異動1年目の調査で、特に慎重・丁寧を心がけた。その結果、調査に3時間かかるクラスもあった。休み時間や放課後など個別に呼ぶことは、生徒にとって負担があると判断し授業内で実施。その分、夏休み前に予定していた全校系列合唱曲の練習に入れなかった。
- 4月当初の「とにかくみんなで歌いたい!」の気持ちにすぐ応えてあげられない。

《実践2》基礎練習の継続的な実施

「こんにやく体操」→“息の支え・ブレスコントロール”→発声練習

・毎時間、歌唱授業の導入時に上記のパターンを基本として行う。

- 声域調査の個々の課題をみつめ、より豊かな音楽表現をするために必要な発声や発音、呼吸法等の技能を仲間とともに磨きあい、基礎的な学習の積み上げの時間として意識づけることができる。
- 基礎練習中、音楽科や教科員による個別チェックを行い、終了後すぐに評価結果を発表することにより、互いを認め目標や課題をもってとりくむ学習の雰囲気作りにもなる。
- 本時の課題とリンクさせて「何を身につけるための練習か」を、生徒も教職員も意識して実施しないと、すぐにマンネリ化する。

《実践3》生徒リーダーを生かした合唱の組織づくりとリーダー育成

～自分たちの手で表現力豊かな合唱をつくる楽しさを味わうために～

・パートリーダーを中心としたグループ学習を随時取り入れ、「個と集団の関わり」の中で互いに高め合う雰囲気を作る。そのための手立てとして…。

①パート組織の決定

- ・声域調査をクラス全員終了した段階で、合唱パート（SATB）を決定する。
- ・生徒の声質や声の成長状況を基本とし、本人の希望やパートのバランスを考慮して調整する。高音域が楽に出せる変声前の男子については「君はTenが本家でSopに出張して力を発揮してください。本家に戻る時期やタイミングは自分の意思で。」などと声をかけ、どの段階の声も大切であることを伝える。
- ・各パート内でパートリーダーと副パートリーダー、パート伴奏者を決める。
- ・ここまでは、音楽の授業で仮決定。これ以降は学級で決定。
- ・全体伴奏者（7月）と指揮者・音楽監督（9月上旬）を学級で決定する。

○声域調査時に適するパートを伝え、生徒の希望を確認しながら進めるので、自分に合ったパートを選ぼうと真剣に参加する姿がみられる。

●女声パートは人数や声量バランスを調整してほぼ平均にするが、男声パートは、実際に出せる声域や本人の希望で決めるので、1年生では、男子の半数くらいが女声パートへ流れたり、B a s sパートが2～3人という場合もあり、実際の合唱では部分調整が必要である。とりくむ時期や楽曲によってもパートメンバーが変わる。

○リーダーについても、合唱コンクールのとりくみにかかわることから、人柄も技能面でも仲間から信頼されるリーダーが選出され、その後の活動の原動力となる。

●クラスの雰囲気や状況によっては、組織決めから大変難航することがある。

②生徒リーダーの育成

- ・合唱コンクールは各学級担任にとって、よりよい学級づくりの大きなチャンスとなる行事であると考え。担任がいかに生徒との活動を楽しみながら指導できるか、その支えとして、生徒リーダーの育成は音楽科の大切な仕事である。

授業では、2学期（9月～）の合唱練習から各パートの音取り伴奏者が旋律を弾いて、パートリーダーとともにパート練習をリードしている。指揮者については、練習課題を明確にしてレッスンを行い、楽曲の表現に応じた振り分けがクラスに指示できるよう指導している。ただ、基礎的な指揮法とはいえ、おとなでも難しい内容のため、本当に音楽的な表現を理解して指揮ができるようになるには、かなり個人差がある。授業の中で、音楽科がしっかりと合唱をつくっていき、その中で「こう表現したい」という生徒たちの思いをくみとって技術指導することを心がけている。

〔パートリーダー〕

- ・毎時間の授業や行事で生徒が主体となって活動する場を設定。学年合唱では学年パートリーダーが、系列合唱や全校合唱では3年生リーダーが中心となって指導する。適宜パートリーダー会議を開き、合同練習の進行や指導内容について事前打ち合わせや終了後の反省会を行い、次の活動に生かす。1年生は、1学期後半～2学期初めから始まる合同練習会（学年課題曲合同練習会4回・系列合唱合同練習会3回）において、学年の仲間や上級生との活動の中で、練習の進め方やリーダーの動きを学び、自分たちの学級や学年の合唱練習に生かしていく。
- 3月の卒業式歌練習では、3年生と2年生の両学年リーダーが活躍する。

〔伴奏者指導〕

- ・9月からの授業や、クラス練習を生徒リーダー中心に行うため、夏休み前の特設学活「自由曲選曲」の時間に課題曲と学級自由曲・系列曲の伴奏者を決定する。伴奏者には楽譜とCDを渡す。また、希望者には、夏休み期間中にピアノ伴奏（パート&全体）レッスンを行う。

〔指揮者指導〕

- ・全校指揮者練習会（全3回）で、基本的な指揮法を指導。課題曲・自由曲・系列曲別練習会（各1回）では、曲ごとの指導ポイントや合唱のまとめ方を中心に伴奏者とともに指導。このほか希望者には、個別に9月中旬から指揮・伴奏者練習会を実施する。（朝・放課後）

〔音楽監督指導〕

- ・各学級の音楽監督（クラス責任者）を中心に学級練習計画立案。全校音楽監督会議実施。1年生でも学級練習をリードできるよう、同系列の3年生監督がサポート。パートリーダーや指揮伴奏者と連携してクラス練習をすすめる。

- どのリーダーも、学年が進むにつれて授業の中だけでなく、学級や学年・全校の合唱活動の推進役として、生き生きと取り組む姿がみられる。リピーターも多い。
- 伴奏者指導について、今年度は、夏休みの希望レッスンに、地域のピアノ講師がボランティアで専門的な指導してくださった。おかげで充実した練習ができた。
- 授業中、指揮者・伴奏者への技術指導に時間を取るのは大変難しい。結果、朝や放課後等、限られた時間の中での指導となってしまう。

（2）【仮説2】の検証

学級担任との連携

①日常の授業で…学習状況や調査結果・決定事項を報告・連絡・相談

- ・「音楽調査カード」集計表
- ・「声域調査」結果一覧（「声の成長記録」）

②行事に向けて…適切な資料提示と相談

- ・「自由曲選曲状況」
- ・「合唱コンクールに向けて（自由曲・組織決定用紙）」
- ・「合唱コンクール組織表」
- ・「夏休み伴奏練習状況」
- ・「指揮・伴奏練習記録」
- ・職員会議提案資料
 - （6月）選曲について （8月）合唱コンクール計画
 - （9月）中間発表会・リハ計画他 （10月）小中合同合唱壮行会・音楽会出演計画
 - （1月）卒業式歌練習計画 （3月）入学式歌練習計画

③学校全体の理解と協力体制UP

- ・校内研修「学級担任の合唱指導」
- ・各学級にオルガン（キーボード）1台配置

月	合唱にかかわる授業や活動の年間予定	資料他
4月 ～ 5月	・授業規律の確立…授業の見通しと「音楽室のルール」確認 ・生徒の実態把握…過去の音楽経験調査（アンケート） …声域調査（個別歌唱実技） パート決定と個に応じた発声アドバイス ・基礎的な学習事項指導（発声・発音練習・呼吸法・体操） ※通年実施で積み上げ ・合唱組織決定Ⅰ（パートリーダー・パート伴奏）	「音楽科シラバス」 「音楽調査カード」 「声の成長記録」 「こんなにやく体操」 「学習カード」 「合唱組織一覧」
6月	・共通教材で合唱練習 （合唱づくりやパート練習に慣れる・リーダーの動き指導） ・アンサンブル発表会（4人一組でアカペラ唱に挑戦）	※職員会議資料 「自由曲選曲について」
7月	・合唱コンクール自由曲選曲（学級担任と連携） ・合唱組織決定Ⅱ（音楽監督・指揮者・全体伴奏者）	「合唱コンクールに向けて」 「自由曲鑑賞カード」
夏休 み	・希望者に伴奏指導（パート音取り&全体伴奏） ※校内研修「学級担任の合唱指導」	「夏休み伴奏練習状況」 ※校内研修資料
9月 ～ 10月	・合唱コンクール曲練習開始（系列曲・学年課題曲・自由曲） ・色別合唱合同練習（縦系列）・学年課題曲合同練習（横系列） ◇指揮者指導・音楽監督指導	※職員会議資料 「絆集会計画」他 「指揮・伴奏練習記録」
11月	・小中合同合唱壮行会（小中連携） ・音楽会出演 （3年）市内音楽会・（2年）地方音楽会・（1年）小学校行事へ ・実技テスト（自由曲独唱）	作文「合唱コンクールを終えて」 ※職員会議資料 「音楽会出演計画」
2月 ～ 3月	・予餞会・卒業式歌練習 （3年練習・1, 2年合同練習・全校練習それぞれで生徒リーダーが活躍） ◇指揮・伴奏・リーダー指導	※職員会議資料 「卒業式歌練習計画」

4 結 論

【成果と課題】

…仮説 1 について

- 個々が、声の成長過程における自己の現状を理解したり、仲間の今を認め合った上で努力することにより、具体的な伸びや課題がわかり、自己有用感を得ながら次の音楽活動に向き合う気持ちが育った。
- 仲間のよさや伸びを認め合えるようになった。
- 他との比較ではなく自分磨きに目を向け、その方法がわかるようになった。
- ▲年度当初に2～3時間も個別に声域調査を行うのは、他の時間を減らすことになる。…が、それ以上の成果を上げることができるので、調査とコメントは継続しようとする。

…仮説 2 について

- 個の力や課題を学級担任に伝えることにより、担任もさらに学級全体と個をよくみてアドバイスや支援をしてくださるようになり、生徒の音楽表現の向上に結びついている。
- 担任との連携を図ることで、音楽が個のものや音楽の授業時間内にとどまらず、豊かな表現をめざし学校全体に「音楽の輪」として広がっているように思う。

生徒一人ひとりの「向上・成長したい」という気持ちは、個に応じた指導と支援を意図的・継続的に行うことで、大きく花開く。さらに音楽科が学級担任と連携し、学校行事に積極的に関わることで、生徒は主体的にとりくみ、仲間とともに感動を分かち合う合唱につながる。

時間はかかるが、音楽科としてやるべきことを丁寧に、今後も生徒一人残らずの成長を信じてとりくんでいきたい。

【小中連携をめざして】

○これから小学校と連携してとりくみたいこと

- ・小中の合唱合同練習開催…中学生リーダーが合唱のパート指導
- ・市内音楽会前の小中合同合唱壮行会
- ・出前授業（歌唱・器楽）

○小学校の音楽の授業でとりくんで頂きたいこと

- 1 番は、小学校時代に「音楽が好き！」をたくさん味わわせていただくことです…。
- ・成長段階に応じた、自然で無理のない発声指導（特に変声期の男子への配慮）
- ・せめて、ト音記号で書かれたハ長調の楽譜の階名唱ができる。
- ・音符と休符の名前と長さがおおむねわかる。
- ・楽譜で自分の歌うパートの旋律がどこかわかる。目で追って歌える。

【研究を終えて】

今年度、6年間お世話になった富津市立大貫中学校から、袖ヶ浦市立長浦中学校に着任し、慌ただしさのうちに半年が過ぎようとしている。私にとって初任校から5校目であるが、それぞれの中学校で、生徒と日々格闘・試行錯誤しながらの実践をそのまま掲載した。あっという間の33年間である。ご覧の通り、特段、目新しいことも、「これさえやればOK」的な特効薬もない。先輩方や同僚の方々から指導のノウハウを頂き、講習会やコンサートに行っただけから鱗。情報や資料を集め…。やっていることは、新採当時とさほど変わらず、明日の授業や仕事のために膨大な時間を費やして準備の毎日である。本当に疲れるが、めざす目標があり、明日のワクワク感が強いうちは辞めずにチャレンジさせていただこうかなと考えている。(周囲や家族の迷惑はゴメンナサイ！)

私たち教職員が生徒と関わることができるのは、僅かな時間である。しかも、高校生になると選択教科になってしまう音楽を中学生に指導することは、常に真剣勝負。年間を通してとりくむ合唱も、これで最後の生徒が多いのは実に残念なことである。声(声帯)の成長のピークは30歳~35歳といわれ、発声や呼吸法をはじめ音楽の基礎・基本を仲間とともに学ぶことで、生涯音楽を愛好する素地ができると考える。生徒自身に「音楽っていいな」と「もっと学びたいな」を植えつけるための様々な手立てを、これからも考え実践していきたい。ご指導をよろしくお願いします。



資料編

年 組 番・氏名

音楽調査カード

1, 今までに、個人的に楽器を習ったことがありますか。(はい ・ いいえ)

2, 「はい」の人にききます。楽器名は何ですか?

- () 鍵盤楽器 ピアノ ・ エレクトーン ・ その他 ()
() 木管楽器 ()
() 金管楽器 ()
() 打 楽器 ()
() 弦 楽器 ()
() 和 楽器 ()

3, その楽器を何歳から習い始め、何歳でやめましたか。現在も続けていますか。

*現在も続けている場合は () 歳～ (現) 歳…合計 () 年と記入
楽器名 () () 歳～ () 歳…合計 () 年
楽器名 () () 歳～ () 歳…合計 () 年
楽器名 () () 歳～ () 歳…合計 () 年

4, その楽器で、1番最近に練習(演奏)した曲や曲集の名前を書いてください。

楽 器 名	曲 名 ・ 曲 集 名 など

5, 合唱のパートについて、○で囲んでください。

- ◎小6の時のパート名 (ソプラノ ・ メゾソプラノ ・ アルト ・ その他)
◎中1の時のパート名 (ソプラノ ・ アルト ・ テナー ・ バス) * 23年
◎中2の時のパート名 (ソプラノ ・ アルト ・ テナー ・ バス) * 3年のみ
◎今年のパート希望 (ソプラノ ・ アルト ・ テナー ・ バス ・ おまかせ)

6, パートリーダー・指揮・伴奏・音楽監督の希望について、○で囲んでください。

- ◎パートリーダー希望 (あり ・ なし ・ 誰もいなければやっても良い)
◎指揮者 希望 (あり ・ なし ・ 誰もいなければやっても良い)
◎パート伴奏希望 (あり ・ なし ・ 誰もいなければやっても良い)
◎全体伴奏希望 (あり ・ なし ・ 誰もいなければやっても良い)
◎音楽監督希望 (あり ・ なし ・ 誰もいなければやっても良い)

7, 今年の目標…授業や、音楽関係の行事(合唱コンクール・音楽会・卒業式等)を通して

8, クラスで取り組んでみたい合唱曲

声域調査表（声の成長記録）

3 年 C 組 (男子 番)

(年 度) (年 組)	声 域 と 声 の 特 色	
(H26年度) 1年C組	今年の目標「いい声、いい表情で歌えるようにがんばる。」	
A T B		
発 声 声 量	○現役 Sop で十分活躍できます。高音域まで高らかに響くボリューム感のある声が魅力的です。勢い、集中力あり good。Ten パートに所属しますが、曲によって Sop パートへの出張可。歌いやすい方を選んでください。仲間との歌声表現を楽しみましょう。	
4 5		

氏 名	声 域 と 声 の 特 色	
(H27年度) 2年A組	今年の目標「リーダーに協力してパート練習を充実させる。」	
A T B		
発 声 声 量	○無理のない自然な歌声発声ができます。声の成長がどんどん進んできています。(出しづらい音域があり、oct 上の音に飛んでしまう) 丁寧に音を取れる良さは今年も健在！息の支えを意識しながら、今出せる音域を中心に粘り強く音取り練習しましょう。	
3 3		

氏 名	声 域 と 声 の 特 色	
(H28年度) 3年C組	今年の目標「合唱コンクールで優勝できるように、練習からがんばる」	
A T B		
発 声 声 量	○出しづらい音域はあるものの、昨年度よりかなり音取りが安定してきました。練習の成果あり！歌うときの口形、口の奥の開け方は他のお手本です。美しく明るい響きもすばらしい。体全体からの歌い込みを目指してさらに大人声を磨きましょう。	
4 3		

【声域調査の感想】 生徒の学習カード記述より

○今日は、自分が今出せる最大の声の質・音量をだすことができました。仲間の声を聴いてみると、音量は小さいが、質はよいと思いました。私個人では、もう少し笑顔でポジティブに歌えるようにしたいです。(3年女子)

○自分の音域、また声の出し方を客観的に知ることができて安心した。高い声、低い声ともに目立って出なかったが、口は開いていたので、これからも続ける。今回の調査で長所も短所も分かったので、よい所を伸ばし、悪い所を直していきたい。(3年女子)

○男子の調査は、かなりすごいと思いました。とても高くて、私より出ていたと思います。男子に負けてられないので、頑張ってお出そうと思います。(3年女子)

○今日は、自分の声の高さや状態が分かった。自分の声の変化を楽しむ！次は、歌う時の顔と口の開け方を意識して、いい表情をつくる。(3年男子)

○表現と声を全体的に出せた。小学のころ合唱部に入っていたおかげで、いい結果が残せた。(3年男子)

○友だちの声の成長などを感じた。また自分は、前より低い声を出せるようになっていた。次は、口の形と表情を◎にしたいです。(2年男子)

○自分の出せる音域が、高い音はあまり出ないけど、低い音ならたくさん出せると知れたことが大きかった。もっと幅広い音域を出せるようにしたいと思った。(2年男子)

○中低音の響きを褒めてもらえて嬉しかったです。今日は風邪気味なので、できれば喉の調子をもっと良いときにリベンジしたいです。調査の時、口を縦にひらくよう言われたので、気をつけようと思います。(2年女子)

○調査から自分がソプラノの声ということが分かりました。低い声をどうやって出したらいいのかよくわからなかったなので、うまく出せるように頑張ります。(2年女子)

○自分は厚みのある響きの声と言われた。途中で声がかすれてしまったが、一生懸命歌えた。高い声がかすれないようにしていきたい。(1年女子)

○きちんと自分が今出せる声を出せたので良かったと思います。もっともっと練習して、大人の響きある声を出せるようにがんばりたいです。(1年男子)

3 学年 2 組 番氏名

月日	学習内容	評 価	成 果	課 題
5/1	音域調査 音楽用語がきこ	(A) B C (A) B C	おれいき、て声を出すことが出来た。 低い声がすこゝ苦手にて改めて感じる ことが出来たので良かったです。	教科員としての仕事がいそひり スムーズに出来るようになった。次回から なみします。低い音をもう少し練習する
8/	音域調査 音楽用語がきこ	(A) B C (A) B C	自分の音域調査をしたけれど、 思つてより出来たと思います。また、 みんなの声を聞いて、みんなの特徴に 気づくことが出来たので良かったです。	ホルン・ムーンの音が出来るように これから1年間がんばりたいと思 います。用語がきこいへるコースを あげたいです。もう一歩!!
26/	音域調査 音楽用語がきこ	(A) B C (A) B C	男子の音域調査をして女子の声には はい男らしい声をきくことが出来て良か です。意外でびっくりしました。かきとりも かなり進められました。もっとがんばります。	1人1人の歌声では高音まで あんなうたうたに出来ない。すこ くやさした。でも今までは 1人1人の歌でこれからはグループ でいけるようにしたいです。
29/	音域調査 音楽用語がきこ	(A) B C (A) B C	ハスの人の声を聞いて、みんな話をして いるときから想像のつかない素晴らしい声 を出している人がいて、私も少し努力を しようと思うことができた。	今日よりリカゼ気味で思うよう に声が出てきていた。それと、口の 形や表情の意識はできてきた。思 うのは声の調子を良くしたいです。
6/5	組織決定 ここにゆく 体操	(A) B C (A) B C	自分のパートが決まると、アルトの声の ホルン・ムーンが全然ないと知れず、 少しの時間でも書き取りプリントを すすめてくれたので良かったです。	アルトを自分の声から、アクト というふうにした。思いほしに。 「花」のばけやう一生けんめい がんばります。
19/	情景をつかむ 言葉で大げ かにあつ	(A) B C (A) B C	あえりパート練習する時間がながくて 合唱部でも歌っていた。よくできたと 思う。ここに×体操もよくできた。	1人1人の歌声では高音があれ 少いところに出ることがある。次回 に向けてがんばります。合唱も もっとがんばりたい。
20/	花	(A) B C (A) B C	パート練習のつぎとして者々は卓上 にわたって。ピアノはミスしてしまふ。部外 あなたが、その後はどうにかしたい。こ ころで。次回から活かしていこうとした。	教科員の仕事をスムーズにできるが た。次回から改善していきたい。 歌声が、前回よりも飛んでいると 感じたので。今回のテストはがんばり
7/4	曲決め	(A) B C (A) B C	たくさん曲を聴けて良かった。 「虹の朝」にうたうた。よく うたえ上げられると聞いた。	曲によって全然あんまり がっかり。しかしよく理解 できたので。合唱で活かして
10/	曲決め	(A) B C (A) B C	色々な種類の曲をきいて それぞれの良さを知り 感じていることができた。	今日がんばった事を 今後合唱つくり 活かしていきたい。
12/	花テスト	(A) B C (A) B C	1人1人1人ずつよくきくと いい。自信を持って、声を出す ことが出来た。他の方の声を よく知ることも出来たから良かった。	音が不安定になりやすい所 とか良い所が自分には 理解できていた。改善さ せたい。
/		A B C A B C		
/		A B C A B C		

【評価】 A 良くできた B できた C できなかった
【結果】 できたこと、分かったこと 課題 できなかったこと、分からなかったこと

◎合唱コンクール 取り組み組織と自由曲決めにについて

10月28日(土)に行われる文化祭合唱コンクールに向けて、今年も、学級の自由曲を決める時期がやってきました。合唱コンクールは、1年生にとって初めての取り組みです。学級の絆を深める機会として大いに頑張ってもらいと思います。2年生は、昨年の経験を生かし充実した歌声を目指しましょう。そして3年生にとっては中学校生活最後の大きな行事です。体育祭が終わると、学級での取り組みも本格化しますね。進路決定に向けても忙しい中ですが、最高学年として悔いのない最高のステージを披露してください。

昨年は、木下 千穂先生(木更津市立岩根中学校教諭)を講師にお迎えして講習をいただきました。今年度の講師は、石川 真奈美先生(南子安小学校教諭・君津少年少女合唱団指導者)です。今年も、9学級が体育館いっぱいに響く歌声をめざしましょう。

幹合唱曲…混声三部合唱「君と歩こう」

課題曲…1年 混声三部合唱「僕らの奇跡」
2年 混声三部合唱「世界をかえるために」
3年 混声四部合唱「遙かな時の彼方へ」

自由曲…1年 混声三部合唱
2, 3年 混声三部または四部合唱

※今までの取り組みから、なるべく自由曲は他の学級と曲が重ならない方が望ましいです。特に同学年の中では、同じ曲を選んだ場合は、学級間の話し合いで調整をお願いします。調整がつかないときは、7/18(火)昼休みに抽選会をします。

1 自由曲決めの流れ

①音楽の授業で合唱曲を鑑賞し、曲のイメージをつかむ。(各学級2時間程度)
6月27日(火)～7月10日(月)

- * 曲の難易度・学級の頑張り等を考慮しながら10～15曲程度鑑賞します。
- * 時間の関係で、曲の途中まで聴いて感じをつかんでもらうこともあります。
- * 合唱曲に詳しい人や、担任の先生のおすすめ曲など希望曲も取り入れます。
- * 鑑賞曲の中から、多数決をとって自由曲の候補曲を絞ります。
- * 音楽室に楽譜等資料もあるので、期間中の昼休み等、自由に調べに来てください。
- * CDの貸し出しは原則として生徒不可です。担任の先生がついてお願いします。
- * 学級で合唱曲を作詞・作曲・編曲することも可。(楽譜と音とり用の音源提出)
- この方法で自由曲を決定する場合は、楽譜と音源の提出は8月下旬でも可
- ・リーダー・伴奏者は、夏休み中に楽譜をもらい練習。夏休み明け最初の授業より学級練習開始。
- ・パート別ラブ等は、作曲・編曲した生徒が作ってください。

②特設学活の時間に、自由曲と伴奏者(課題曲・自由曲)を決定する。
7月11日(火)1校時…1年生 2校時…2年生 3校時…3年生

③自由曲決定した学級は…楽譜印刷(生徒・担任分+10部)…各学級で印刷(7/12水～14金)
* B4上質紙に印刷→2つ折りで綴じ込み(ホチキス2カ所)→パンチで穴開け
* 10部を音楽室に提出(7/18火まで)
* パートリーダー・伴奏・指揮者分の楽譜は、学級担任から終業式までに本人に配布。
各リーダー・伴奏者は夏休み中に練習する。
* パート伴奏者・全体伴奏者で、希望者には夏休み期間中に2回レッスン実施。
* 一般生徒分の楽譜は、各自の音楽ファイルに託して学級保管してください。
* パートCDを作成したい学級は音楽科に申し出てください。

④決定しなかった学級は…7月12日(水)～14日(金)各学級で候補曲を再鑑賞
7月18日(火)昼休み抽選会
・夏休み前に学級で自由曲と伴奏者を決定し、楽譜印刷をお願いします。

2 取り組み組織決定について

○7月11日(火)の特設学活で決定する。

- * パートリーダー・副リーダー・パート伴奏者は授業で決定済みです。
- * 別紙プリントを参考に、組織と今後のおおまかな見通しを決めてください。
- * 指揮者については、9月上旬決定でも間に合いますが、全体伴奏者とパート伴奏者は夏休み中に練習するため、必ず夏休み前に決定したいと思います。全体伴奏希望者が複数立候補した場合は、夏休み明けに弾き比べをして、決定することができます。伴奏希望者全員に楽譜を渡してください。

3 過去に取り組んだ自由曲

1年(平成28年度)
・明日のために(混3) ・Believe(混3) ・大切なもの(混3)

(その他参考)

- ・HEIWAの鐘 ・My Own Road ・友 ・あなたへ ・fight ・君とみた海 ・遠い日の歌
- ・野生の馬 ・旅立ちの時 ・カリブ夢の旅 ・瑠璃色の地球 ・虹 ・明日へ ・COSMOS
- ・時の旅人 ・虹色の鐘 ・Let's search for Tomorrow ・マイパラード ・君はベガサス
- ・思い出は空に ・海の不思議 ・みんなひとつの生命だから ・海・風・光 ・夢は限りなく
- ・友よ北の空へ ・フェニックス ・心の瞳 ・はばたこう明日へ ・ジェリコの戦い(ア・カペラ)

2年(平成28年度)
・見えない翼(混3) ・黒い瞳(混3) ・YELL(混3)

(その他参考)

- ・二十億光年の孤独 ・はじまり ・永遠のマーチ ・かみさまへののがみ ・信じる ・人間
- ・IN TERRA PAX ・ひとつの朝 ・野生の馬 ・Soon-ah will be done(ア・カペラ) ・走る川
- ・心の中に ・名づけられた葉 ・時の旅人 ・消えた八月 ・心の瞳 ・未来 ・予感 ・蒼鷺
- ・青葉の歌 ・親知らず子知らず ・木琴 ・樹氷の街 ・荒野の歌 ・海の匂い ・若返りの水
- ・海・風・光 ・手のひらをかざして ・生きている証 ・unlimited ・この地球のどこかで

3年(平成28年度)
・親知らず子知らず(混3) ・IN TERRA PAX(混4) ・二十億光年の孤独(混3)

(その他参考)

- ・旅の途の風に ・音楽にすれば ・ひとつの朝 ・君は地球が回転する音を聞いたことがあるか
- ・人間 ・十字架の島 ・ひとつの朝 ・音楽にすれば ・海はなかった ・海の匂い ・エトピリカ
- ・航海 ・聞こえる ・信じる ・予感 ・手紙 ・山のいぶき ・未来 ・河口 ・若返りの水
- ・早春 ・わが里帰郷(マイストン) ・むぎや(富山に伝わる三つの民謡より) ・こきりこ ・絆に
- ・モルダウ ・はじまり ・魂の一番おいしいところ ・サバンナの風 ・紀の川 ・流れゆく川
- ・OH MY SOLDIER ・花をさがす少女 ・ほうけた母の子守歌(ア・カペラ) ・川 ・消えた八月
- ・大地讃頌 ・流浪の民 ・ハレルヤ ・Ave verum corpus ・Soon-ah will be done(ア・カペラ)
- ・あなたは風(ア・カペラ) ・ジェリコの戦い(ア・カペラ)

4 どのような曲を、クラスで歌いたい?

～学級目標の達成を目指して！～

【 歌詞の内容から選ぶパターン 】

- 自然や宇宙を歌った曲… ○歴史や社会的なできごとをテーマにもの… ○動物もの…
- 愛や命、人間の生き方などを歌った曲… ○青春と旅立ち・友情！若いエネルギーで歌う曲…

【 曲の構成から選ぶパターン 】

- 混声3部(ソプラノ・アルト・男声)？ or 混声4部(ソプラノ・アルト・テナー・バス)？
- 伴奏あり？(伴奏の難易度レベル注意)？ or 無伴奏(ア・カペラ)？
- 曲の長さは？(例：「大地讃頌」3:30 大曲になると8分を超える曲もあります。)
- 日本語？ or 外国語？
- 手拍子やステップ・簡単な楽器がつけられる曲

校内合唱コンクールに向かって

() 年 () 組・氏名 ()

自由曲候補

① ② ③

1 各係を決めよう

①パートリーダー 特にパートのメロディを覚える時、みんなに指示しながら進めていくので、特に音楽的に理解が深く積極的な人。

・ソプラノ ()
・アルト ()
・テナー ()
・バス ()

②副パートリーダー パート練習中の規律係として学級をまとめていける人。贈めくり係。パートリーダーと協力してパート練習を進めていく。

・ソプラノ ()
・アルト ()
・テナー ()
・バス ()

③パート伴奏 パートリーダーの指示を受けて、ピアノまたはキーボードでパートの音を取ってくれる人。ある程度、単音でもいいから楽譜を見て弾ける人。

・ソプラノ ()
・アルト ()
・テナー ()
・バス ()

④音楽監督 合唱コンクール練習の総責任者。学級の取り組みの企画・運営を行う。学級代表として、実行委員会や音楽監督会議に出席する。

⑤選曲委員 比較的音楽に関心が強く、学級の様子をよく把握している人。

①②④⑥⑦の人があってもよい。

() ()
() ()

⑥ピアノ伴奏者 合唱の全体伴奏者。クラスにだいたい2～3名はいるようです。

・課題曲 () 自由曲 ()
・絆合唱 ()

⑦指揮者 積極的で意欲のある人。学級の気持ちをひとつにまとめていける人。指揮者練習会（体育祭終了後9月中旬～）にきちんと参加できる人。2人でもよい。

・課題曲 () 自由曲 ()
・絆合唱 ()

⑧用具係 CD・デッキ・キーボードなどの準備・管理。④が担当してもよい。

Sop () Alt ()
Ten () Bass ()

⑨教科員 楽譜管理・パートCD準備。その日の音楽の時間に、どのような合唱練習をしたか、学級の希望をまとめて授業前に報告。練習が充実するようにする。

() () () () () ()

2 取り組み目標

3 取り組み計画

	内 容	課題曲	自由曲
1	各パートをおぼえる	楽譜を見ながら / ~ /	/ ~ /
2	3(4)パートであわせる	~	~
3	譜面を見ないで伴奏にのって歌える	~	~
4	指揮にあわせて歌える	~	~
5	詩の理解をする	~	~
6	表現・発声の研究をしながら曲をまとめる	~	~

合唱練習のポイント（コンクール審査の観点）

No	チェック項目	ポイント（できたら○をつけよう）	○印
1	姿勢	①歌うためのフォームが作られているか。 ②重心（足の位置）はよい。	
2	呼吸	一生懸命になりすぎて肩で息をしていないか。	
3	発声	①話し声（地声）のまま歌っていないか。 ②各パートの音色がそろってきこえるか。	
4	発音	母音の発音が重くなっていないか。	
5	リズム	他のパートと絡み合うとき、正しく歌っているか。	
6	メロディ	①音程を正しく歌っているか。 ②他のパートとのバランスがよい。	
7	ハーモニー	①どこかのパートがとびぬけているか。 ②バランスがとれて心地よく響きがきこえるか。	
8	速度	速さは適切であるか。	
9	強弱	＜ や ＞ などを適切に表現しているか。	
10	表情	①歌っているときの表情が自然であるか。 ②曲の雰囲気やうまく表現しているか。	
11	指揮・伴奏	全員がよく指揮を見て伴奏と一体となって歌っているか。	

平成28年度

文化祭合唱コンクール夏休み伴奏練習状況①（3学年）

学級	パート伴奏		課題曲	自由曲
3A	S		1小節ずつリズム取り状態。家で補習予定	リズム取ってリズム要練習。臨時記号正確に
	A		つかえずスムーズに弾けるまで練習しよう。	休みの他パートも弾く。リズム取ってリズム練習
	T		Ten OK!	ほぼOK。音ミ・リズム確認
	B		次回両手でつかえず弾こう	本日初見・要練習！リズム取ってリズム練習
	全	自全体	片手で音読み状態危険。8/7 ロック×2日ベース（片手→両手）で8/30完成予定。	
3B	S		本人の申し出により本日レッスンなし	つかえるが最後まで弾けた。個人で伴奏レッスン受ける予定あり。
	A		何とか最後まで弾いたが初見状態。要練習！	課題曲同様。要練習！
	T		ゆっくり正確にリズム・音取り練習しよう。	本人の申し出により本日レッスンなし
	B		本日片手。耳コピ×。3連・5連符取り直し。伸ばしの拍数数えて。	本人の申し出により本日レッスンなし
	全	課全体	現段階では両手弾きせず、片手ずつついでに音読み要練習！臨時記号注意。	
3C	S		Sop なし	なし
	A		Alt 課 本日初見状態・リズム音程、要練習！5連符・3連符×。次回8/11木7:30補講	
	A		Alt 自 CD 耳コピ×。練習量不足。ピアノでテンポ取って正確に音読みのこと！	
	T		Ten 本人の申し出により本日レッスンなし	なし
	B		Bass 初見状態・要練習！5連・3連符×	耳コピ×。ピアノでリズム音読み要練習！

【3A】次回レッスン…8月27日（土）14:00～16:00（…レッスンなし）

【3B】次回レッスン…8月21日（日）10:00～12:00

変更： …8月10日（水）9:30～10:00（済み）
…8月23日（火）7:30～ 8:30

【3C】次回レッスン…8月24日（水）10:00～12:00

変更： …8月11日（木） 7:30～ 8:00
…8月21日（日）13:00～13:30

練習目標…（パート伴奏）テンポ通り最後までつかえずに弾ける。

（全体伴奏）両手でゆっくり最後まで弾ける

※生徒への励ましをよろしくお願いします。

年 組 指揮・伴奏練習希望用紙 (提出用)

音楽科へ提出… 9/15(金)16:00 〆切

音楽監督			
指揮者	(課)	(自)	(絆)
伴奏者	(課)	(自)	(絆)

月 / 日	曜 日	行事予定	朝 7:20~7:50			放課後 帰会終了5分後~45分間		
			1音	音準備	体育館	1音	音準備	体育館
9/12	火	避難訓練 全評 合唱コンクール実行委員会 (指・伴練習希望用紙配布)	—	—	—	—	—	—
15	金	新人大会 壮行会	—	—	—	—	—	—
16	土	各学年課題曲練習① 指伴練習希望用紙〆切 全校指揮練習①② (8:00~10:00)	全指①②	—	—	—	—	—
19	火	(星)監督指揮会議 学(学級練習計画提案) (帰会)1年課題曲練習会② 職員会議	—	—	—	—	—	—
20	水	学級・指揮伴奏練習開始 試走 PM (帰会)3年課題曲練習会②	◎	○	○	◎	○	○
21	木	英語コンテスト	◎	○	○	○	○	○
22	金	教育研究会	—	—	—	—	—	—
23	土	全校指揮練習③ (7:30~8:20)	全指③	—	—	—	—	—
24	日	絆・課題曲指揮・伴奏者練習 (8:30~12:30) 学級別自由曲指揮・伴奏者練習 (7:30~12:00)	絆課題指 自由指	—	—	—	—	—
25	月	学年集金 自転車点検 壮行会リハ	—	—	—	—	—	—
26	火	2年モレ 支部駅伝壮行会 全評	◎	○	○	○	○	○
27	水	支部駅伝レース大会 絆集会前日準備	◎	○	○	○	○	○
28	木	絆合唱集会・練習会① 専門委 駅伝予備	○	○	○	—	—	—
29	金	帰会15分延長 (帰会)2年課題曲練習②	◎	○	○	◎	○	○
30	土	指揮・伴奏練習予備日 (8:00~12:00)	指予備	—	—	—	—	—
10/2	月	給食費集金 (帰会)3年課題曲練習③	—	—	—	◎	○	○
3	火	3年三者面談① (帰会)1年課題曲練習③	◎	○	○	◎	○	○
4	水	② 絆合唱② (帰会)2年課題曲練習③	◎	○	○	◎	○	○
5	木	③ 絆合唱③ (帰会)3年課題曲練習③	◎	○	○	◎	○	○
6	金	学校音楽鑑賞教室	◎	○	○	○	○	○
10	火	3年復習確認テスト	◎	○	○	○	○	○
11	水	合唱コンクール実行委員会	◎	○	○	○	○	○
12	木	絆合唱練習③ 前期終業式	—	—	—	—	—	—
17	火	後期始業式 学年集金 弁当 企画	—	—	—	—	—	—
18	水	(放)全評 学年生徒会(前日準備)	◎	○	○	○	○	○
19	木	学年合唱中間発表・課題曲練習④ モレ	○	○	○	◎	○	○
20	金	絆合唱中間発表会 専門委 集会リハ(休)	○	○	○	—	—	—
23	月	文化祭優先週間 カン登校 職員会議	—	—	—	—	—	—
24	火	生徒集会(体育委) (放)監督指揮リハ	◎	○	○	—	—	リハザル
25	水	〃	◎	○	○	—	○	〃
26	木	〃	◎	○	○	—	○	〃
27	金	〃前日準備 学習委・監督指揮リハ	○	○	○	—	—	リハザル
28	土	合唱コンクール・PTAハザー	—	—	—	—	—	—
31	火	特学(合唱コンクールの反省)	—	—	—	—	—	—

9月16日(土) 8:00~9:00 全校指揮者合同レッスン ①…基本フォーム・脱力・たたき練習
9:00~10:00 〃 ②…平均・出だし・ひっかけ・のぼし・止め練習
9月23日(土) 7:30~8:20 〃 ③…先入・分割・省略・強弱・速度・表情の振分け
8:30~12:30 絆・課題曲指揮伴奏合同レッスン
(絆8:30~・3年9:30~・2年10:30~・1年11:30~)
9月24日(日) 7:30~12:00 学級別自由曲指揮伴奏レッスン
9月30日(土) 8:00~12:00 指揮練習会予備日

◎持ち物…楽譜・筆記用具・消しゴム

*○ …自主練習(指揮伴奏)
*◎ …音楽科とレッスン
*— …練習なし

- 1 自主練習の日(○)は、学級担任または学年の先生に練習開始と終了の報告をします。
- 2 練習日に、どうしても練習できない事情ができた場合は、事前に本人又は音楽監督が音楽科まで申し出ること。(他のクラスに割りふるため)
- 3 全校・学年合同練習は、全員参加します。(他の活動と重なる場合は予備日に振替え可能です。)

指揮者・伴奏者練習記録

月 日 ()

年 組・指揮者氏名 ()
伴奏者氏名 ()

練習内容

練習内容

自主練習のポイント・課題

自主練習のポイント・課題

全校指揮者練習会 (第1音楽室)

伴奏・課題曲指揮練習会

自由曲指揮練習会

- ① 9月16日(土) 8:00～9:00 9月23日(土) 8:30～12:30 9月24日(日) 7:30～12:00
② 9月16日(土) 9:30～10:00 (伴奏) 8:30～9:20 (1学期30分)
③ 9月23日(土) 7:30～8:20 (課題曲) 9:30～12:30 予備日9月30日(土)午前中

学年中間発表会 (10/19木)・総合学年発表会(10/20金)・合唱コンクール (10/28土)

第1回全校指揮者練習記録

9月16日(土) 8:00～9:00

練習内容

・基本フォーム

背筋を伸ばして立つ。
おへその前に右手をかまえる。
右手は膝くにぎり、親指を上からそえる。

・脱力

2人組で確認

・消しゴム投げ練習

平首のスナップでは投げない。
ひじから先、腕の伸張の1本だけビクッと震盪するだけ。
投げ上げたらすぐ脱力してキャッチ。
基本フォームに戻して静止状態から次を投げる。

・たたき練習

ボールの動きがお手本、ひたすら練習あるのみ。

自主練習のポイント・課題

- ①消しゴム投げ50回
②たたき練習50回
③自分が指揮をする楽譜の中に出てくる記号の読み方と意味をチェックしてくる。

次回の予定

第2回全校指揮者練習会 (楽譜・筆記用具・消しゴム持参)

9月16日(土) 8:00～10:00 第二音楽室

○各拍子の形と予備拍・平均・出だし・ひっかけ・のびし・止め練習

第2回全校指揮者練習記録

9月16日(土) 9:00～10:00

年 組・指揮者氏名 ()

練習内容

・前回の復習 (基本フォーム・脱力・消しゴム投げ・たたき)

2人組で確認

・宿題の確認 (楽譜チェック…記号の読み方・意味)

・平均練習

「たたき」との違い…どこも同じ速度

曲のどのようなところで使う?…ゆったり、なめらかな曲を振るとき

・2拍子 3拍子 4拍子

2拍子	3拍子	4拍子
-----	-----	-----

・予備拍とは

歌い出すひとつ前の拍～

予備拍で、歌い始めるの速度を示す。

指揮者は、予備拍の時に必ずブレス (息を吸って) して合唱の声を引き出す。

・1拍目から始まるとき 2拍目から始まるとき

予備拍 () 拍目からスタート 予備拍 () 拍目からスタート

左手(L)	右手(R)	(L)	(R)
-------	-------	-----	-----

・3拍目から始まるとき

予備拍 () 拍目からスタート

・4拍目から始まるとき

予備拍 () 拍目からスタート

左手(L)	右手(R)	(L)	(R)
-------	-------	-----	-----

・のびし練習…左手しっかり支えて平行移動

7

・ひっかけ

2拍の裏拍 (早拍) スタートのときのばすときは、3拍目のあたまでカット

3拍 () 拍目
4拍 () 拍目
5拍 () 拍目

・止め練習

ブラのシグ

自主練習のポイント・課題

自主練習のポイント・課題

次回の予定

第3回全校指揮者練習会

9月23日(土) 7:30～8:20 第1音楽室

○分割・省略・強弱・速度・表情の振り分け練習

練習の
成果を
発揮する!

リラックス



© 1980 by KYOGAKI & Co. Publishers



自分成長させたもの

私は三年間合唱コンクールで指揮者として活躍しました。最初は、指揮者になろうと思ったのですが、練習が大変で、途中で断念しました。しかし、先生から「指揮者になるには、練習が大切だ」と言われ、再び練習を始めたところ、文化祭で、高校生活でも更に成長することができました。先生、先輩、後輩の皆さん、ありがとうございました。

指揮者ありがとう



1年 A 組 合唱コンクール学級練習計画表 (提出用)

9/16(金)音楽科に提出

月日	曜	学校行事	昼帰割当	指・伴奏練習	音授業 学級他	練習計画
9/13	火	復習確認テスト①・避難訓練 (放)体育祭実行委・全評 音楽監督指揮者会議	風雨		音授	(指・伴奏練習希望表/学級練習計画表配布) 自主練
14	水	復習確認テスト②				CDをきく
15	木	英語コンテスト 試走② PM (学)中間テスト計画 総(学級練習計画提案)			音授	だいたい覚える。(各自) (指伴奏練習希望提出)
16	金	各学年課題曲練習会① 専門委員会・学年生徒会 (昼)監督・指揮者会議 企画 薬物乱用防止教室 13:30				(学級練習割当て開始) 「HEIWAの鐘」練習
20	火	(帰会)2年課題曲練習会②				音取り、歌う姿勢なども 確認し、完ぺきにする。(CD)
21	水	(帰会)1年課題曲練習会② (指揮・伴奏練習割当て開始) 君研一斉				パート別に分かれて練習
23	金					
26	月	職員会議 校外指導モニター テスト前諸活動停止(-9/29木朝)			6校時 前→1校時	いっしょにできるパートがあれば、 ほ、できるだけあわせる。
27	火	試走③ AM 3年進路説明会(5.6h)				「僕らの奇跡」練習
28	水					音取りを完ぺきにする。
29	木	中間テスト (帰会)3年課題曲練習会②				パートの中で細かい 部分を直す。(パートリーダーも 中心に)
30	金	全評 音楽の集い実行委員会 (帰りの会 15分延長開始) 3年三者面談①				パートの中で度あわせる
10/3	月	後期日課開始 学年会 (帰会)1年課題曲練習③ 3年三者面談②	音授	体育館	5校時 体育館後半 前→1校時	「HEIWAの鐘」 強弱など細かい所をやる
4	火	支部駅伝壮行会 4h				表情に気を付ける。
5	水	支部駅伝ロードレース大会				「HEIWAの鐘」の最終確認とやる。
6	木	(帰会)2年課題曲練習③ 3年三者面談③ 校内研修	前→1校時 後→2校時		音授	「僕らの奇跡」
7	金	(帰会)3年課題曲練習③ 支部駅伝ロードレース大会予備日	前→1校時 後→1校時			細かい部分を確認する。
11	火	(放)文化祭実行委員会② (中間発表会について、抽選)	前→1校時 後→2校時		音授	体育館で歌う確認
12	水	3年復習確認テスト				2曲にも、あわせる。
13	木	(放)学年生徒会(前日準備) 企画 中間合唱発表・課題曲練習会④	後→1校時		音授	パートの中で最後の最終確認
14	金	(放)文化祭優先通関 監督・指揮伴奏舞台リハ				全体であわせる。 (気を付けることなど、確認)
17	月	職員会議 自転車点検				最後まで、CDなどをきき自分で かきつらぬこととする。
18	火					文化祭、先輩たちにも負けず、 優秀賞取るぞ!!
19	水					
20	木	全評				
21	金	文化祭前日準備・リハ 市道形審査会				
22	土	文化祭・合唱コンクール				
25	火	特設学活(文化祭の反省)				

9/15~9/29
音取り歌詞
を覚える
正しい発
口の開け方
を教える

9/30~10/5
(音楽の
授業
指を
動かす
まで)
鼻濁音
アル・強弱
に注意

10/6~10/13
(音楽の授業
まで)
のほろほろ
後弱
ハモニー

10/14~
中間発表の
反省を生か
してしあげ
する。

生徒が輝き、学級集団が大きく成長する行事「合唱コンクール」 日々格闘しながら、生徒と苦楽を分かち合う先生のために (こどもとの活動をもっと楽しく！の願いを込めて…)

○はじめに

合唱コンクールは学級担任にとって、よりよい学級づくりの大きなチャンスとなる行事のひとつであると考えます。担任の先生方がいかに生徒との活動を楽しみながら指導できるか。

音楽科は、その支えとして、①呼吸法や発声・発音、歌詞の抑揚を生かした歌唱表現のしかたなど、基礎的・基本的な歌唱技能を身につけさせること。②生徒リーダー（パートリーダー・指揮者・伴奏者・音楽監督）を育成し、技術面から指導・支援することを心がけて日々指導に当たっています。合唱を作り上げていく過程で生まれてくる音楽的な課題「こう表現したい」という欲求を、学級で工夫しながら取り組めるよう、また、それをリーダーが理解し、的確にまとめ上げていけるように。

でも、週1回足らずの授業で、全くのつてこない学級。遅々として進まない音取り練習…。が、ある日突然大変身してしまう学級があります。学級担任の先生（学年の先生方も含めて）は、いったいどんな『魔法』を使ったのか？学級担任の生徒に対する愛情に裏打ちされた“仕掛け”と、そんな担任の努力を見抜き、全力で応えようとする生徒との信頼関係こそが、この行事を魅力的にしている原動力であり、まさに学級担任としての醍醐味なんだなあ実感。子どもたち自身はどうか。この取り組みを通して、クラスの誰一人として欠けてはならない、集団の一員としての存在感。お互いの良さも課題もさらけ出し合って、人間関係のトラブルも多々乗り越え、みんなでひとつのものを作り上げることで得られる達成感。

○感動的な合唱（結果）には、そこに行き着く取り組みの過程あり。学級担任ならではの指導

- ◆曲を知る→詩の理解…まずは教師自身が味わう。詩から伝えたいメッセージをキャッチ。
…詩の背景・歴史・情景 etc…作者の意図を汲み取る

↓↓↓

詩の理解の時間を学級でもつのはとても有効！
インターネット・書籍等で調べ学習も Good
歴史的背景等、社会の先生に特別授業お願いとか…
作詞・作曲家に直接インタビュー！
曲に描かれている現地に取材に行く 等々

→曲の理解…曲のクライマックスや各パートの聴かせどころは？全体の雰囲気をつかんで
生徒と作戦を練ってみては？

- ◆生徒のリーダー組織がうまく機能できるよう支援

…練習環境を整える

- 3（4）パートが同時に練習できる場所の設定
- 各パートにキーボード（またはCDデッキ）準備
- 歌詞の掲示物や個人・パート・学級目標掲示物で意欲化

…効果的な取り組みの工夫

- クラス練習の流れ・ルールを決める。
毎時間、練習の最初と最後に音楽監督やリーダーが目標設定・評価する。
- リーダーの作戦会議時間確保

- ◆担任が一番はりきって行事に取り組む姿をみせる

- 各パートの音程を歌えるようにする。車中でCD流して自主練
- 生徒と一緒に歌う！ぜひお時間が合えば音楽の授業にも来てください。
先生と一緒に活動してくれるクラスはぐんぐん伸びます。
- 担任の思いを発信（クラスの課題・リーダーの頑張り…学級通信等）

合唱づくりは学級づくりの有効な手立ての1つと考えています。合唱づくりを通して、リーダーやフォロアーの育成、1つの目標に対して団結しよう、よりよいものをめざしていこうとする気持ちや態度の育成を心がけています。

合唱は、指揮者、伴奏者、そして歌う者(それらをまとめる音楽監督、パートリーダーが重要)が各パートを分担し、皆がそれぞれの役割と責任を果たしながら、協力していくことにより完成します。合唱づくりを通して、自分の役割を果たすことで達成感を味わい、自信を持つようになり、学級の中に協力し合える人間関係が築かれることで、意欲的な活動が増え、自己肯定感も高まります。時には、人間関係の問題も発生したり、なかなか協力をしてくれない者が出てきたりして、練習が思うように進まないこともあります。しかし、その問題を乗り越えながら、学級で一つのものをつくり上げていくからこそ、子どもたちは感動や達成感を覚えていきます。これらの経験を通し、学級集団の成長を目指します。

話し合い活動

①選曲する

音楽科の授業で聞いた合唱曲のうち、生徒の希望が多かった候補曲を3～4曲にしぼって再度聞かせます。担任が希望する曲も1曲入れます。(担任も合唱づくりに関わるため。また、楽譜が読めないのもので、その分、歌詞が解釈しやすかったり、その曲で訴えやすいものを選曲します) 選曲するとき、ただ聞かせるのではなく、歌詞を用意し、歌詞を見ながら、感想を書きながら聞かせます。その後、希望順をとり、多数決だけではなく、それぞれの意見を交換するのを重視しています。時には少数意見でも、主張が鋭く、みんなの意見が変わるなんてこともよく起こります。今年度もそうでした。みんなが同じ方向を見て活動するためにも、話し合い活動が重要な意味を持つと思います。

②目標を設定する

学級で、合唱コンクールの最終目標、そのための取り組み目標、パートごとの目標を話し合います。事前に、リーダー(音楽監督、指揮者、パートリーダー、副パートリーダー)で話し合い、原案を持って、学級会での話し合いをします。リーダーの自覚を持たせることにもつながります。

決めた目標は、合唱テキストに記入させたり、教室の掲示物にしたりして、いつでも意識できるように、振り返られるようにします。(1A、2Bの教室参考)

さらに、「個人の目標」や「仲間へのメッセージ」を記入し、学級通信で紹介したり、掲示物にしたりします。賞を獲得することだけが合唱の目的ではないことを十分に理解させ、その過程を重視させます。

※合唱コンクールまでのカウントダウンをつくり、仲間へのメッセージを掲示する方法も。

(2Aの教室参考)

③歌詞の解釈

技能的な面は指導できないので、歌詞の解釈から合唱づくりに迫ります。歌詞を題材に道徳的に取り上げることが多いです。例えば、今年度の課題曲「ぼくらの奇跡」では、「友達を信じる、友達から信じられるとは…」、自由曲「HEIWAの鐘」では、「沖縄戦争から平和の尊さ」を考えさせました。歌詞の中の風景や心情などを理解し、解釈したことを「聴いてくださる方に何を伝えるか」につなげるようにします。

※過去3年間の歌詞の解釈を参考に載せてあります。

④活動がうまくいかないとき

練習がうまくいかないときは、リーダー会を設け、リーダーが一人で苦しまないように、悩みを共有します。そして、練習計画や方法を変えてみるなど対策を考えさせます。それでも改善されないときには、学級全体で話し合いの場を持ち、皆の問題として考えさせます。真面目に練習に参加しない生徒を一方向的に責めるのではなく、一緒に頑張るという気持ちにさせられるとよいのですが…時には、個々に呼んで話したり、ライフを利用して伝えたり…

リーダーの具体的な活動

- ・朝の会で、その日の練習時間・場所・目標を発表。音楽監督は、それらを専用の黒板に記入し掲示します。
- ・練習の後には、音楽監督が中心にその目標に対しての反省し、思いを伝えます。

※担任は、リーダーをはじめ、がんばっている生徒を認め、全体の中で賞賛し、頑張っている生徒が嫌な思いをしないように働きかけるよう努めています。リーダーやフォロアーの育成につなげるために…

【合唱コンクールのとりくみを通して】 学級担任のご意見より

○合唱コンクールは、クラスのまとまりが試され、普段の学級経営があらわになって出てしまう行事なので、学級担任を何年やっても毎年、緊張します。選曲や、リーダー組織決めなどの段階で、音楽科からクラス生徒の調査データやとりくみについての資料をタイミングよく出してもらえて助かりました。

○ベテランの先生から、「自分のクラスの音楽授業を見にいくと、グンとうまくなるよ。自分も一緒に歌って歌を覚えられるから楽しいよ。」とアドバイスをもらって、空きの時間がある限り参加しました。なるほど、納得です。生徒のがんばりを学級通信に書いたり、授業でもらった課題をリーダーと相談して学級の時間に練習してみたり…。担任としてやるのがたくさん見つかりました。(←大貫中も長浦中も、合唱コンクールの時だけでなく、普段から授業に訪れる担任が多い。生徒も喜び、俄然やる気が増す。)

○指揮者や伴奏者の指導など、技術的なことは音楽科でやってくださったので、苦勞しませんでした。担任の立場からひたすら励まし役に徹しました。(←生徒の要望に応じて、指揮者レッスンに同行してビデオ撮影してくださった方。中には、生徒と一緒に指揮の練習をして、予餞会の職員合唱で指揮デビューを果たした担任も。)

○音楽の授業だけでなく、学級の時間にも音楽科がクラスにまわってきてくれたのが良かったです。生徒のとりくみについてのアドバイスが嬉しかったです。(←毎日、学級練習の様子を録音・録画して生徒と反省会を行い、放課後は、職員室で音楽科に映像を見せて、コンクール前日まで連日の対策会議(?!)を実行した担任)

○体育祭は、負けるとがっくりきて生徒の心がカサカサしますけど、合唱って結果がどうでも、クラスの雰囲気やしっとりするので不思議ですね。ここで育ったリーダーが、後半の学級生活や行事で存在感を出してくれるのも、担任として嬉しいです。でも、来年こそ勝ちにいきます！(←結果発表後の帰りの会で、「負けたけど歌おう！！」という生徒の声に応じて、担任も肩を組みながら涙の大合唱)

●“1年生の男子の声の幼さ”や、“やる気の差(合唱に限りませんが)”、“約2ヶ月のとりくみ期間をどう間延びせず引っ張れるか”… etc. 自分のクラスの合唱で相談したいことが、まだまだたくさんあります。

●うちのクラスは4部合唱で、音取り伴奏の生徒たちに弾いてもらうのに必要なキーボードやCDラジカセが足りず困りました。結局、なんとか借りて揃いましたが…。(←自腹を切ってキーボードやコンボを購入する担任も多く、かといって全部学校備品で賄えるわけもないので、毎年お願いして少しずつ学校でそろえていただくよう働きかけ中。)